

「神は良いことのための計らいとされる」創世記50：15-26 12・10・7

I ヨセフの兄弟達の恐れ、心配と明確な謝罪。「彼らの父が死んだのを見たとき、彼らは、『ヨセフはわれわれを恨んで、われわれが彼に犯したすべての悪の仕返しをするかもしれない』と言った」：15。生ける神は、ヨセフを父ヤコブを兄弟達をそして私達を悔い改めるように取り扱われ、変えられ成長するように愛をもって訓練される。兄弟達はことづけして言った。「あなたの父は死ぬ前に命じて言われました。『ヨセフにこう言いなさい。あなたの兄弟たちは実に、あなたに悪いことをしたが、どうか、あなたの兄弟たちのそむきと彼らの罪を赦してやりなさい、と。』今、どうか、あなたの父の神のしもべのそむきを赦してください。」：17。神の働きかけを受け続けていた兄弟達は、はっきりとヨセフに自分たちの罪を「赦して下さい」と謝った。「彼の前にひれ伏して言った。『私たちはあなたの奴隷です』」：18。

II ヨセフの赦し。

1. 「ヨセフは彼らのことばを聞いて泣いた」：17→兄達が過去の罪をこれほどまでに悔いていることを知って心が打たれた涙、心からの赦しの涙、愛の涙、神がここまで和解へと導かれた感謝の涙、昔のことを思っただけの感慨による涙、これらすべてを含んだ涙であろう。2. 「ヨセフは彼らに言った。『恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか』」：19。さばくお方は、神のみ→「愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい（原語のニュアンス：神の怒りに場所を与えなさい）。それは、こう書いてあるからです。『復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる』（ローマ12：19）。3. ヨセフの赦しの秘訣→ヨセフも自分が完全な者ではなく、自分の罪も神に赦されて、生かされていることを自覚していた。それから、人から悪い事をされても、そこにも神のご支配、摂理、深いご計画（すぐにその意味が分からなくても）があることを学んでいた→「あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした」：20。ヨセフ物語（歴史的事実）の中心は神の「摂理」。人間の歴史と私達一人一人の地上の歩みには神のご支配、摂理がある。すべてのことが偶然によって起きているのではない。神の許しのもとに、すべてが神のご計画に従って進められて行く。「雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません」（マタイ10：29）。神は、人間のした悪をも、御自身の御業により良きことのための計らいとすることがおできになる。もちろん、私達人間一人一人に自分の犯した罪への悔い改めを神は求められる。「わたしは、愛する者をしかり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい」（黙3：19）。私達は、人の目にマイナスに見える事があっても、失望しないようにしたい。神は、す

べてを支配し、すべてを見ておられ、すべてを知っておられ、すべてのことを働かせて益として下さる神を信頼したい。「神を愛する人々（神に愛され神を愛し神に従う人。自分の罪を隠さず悔い改める人）、すなわち神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる」ローマ8：28。益とは、苦しみを通して主の品性に変えられ続ける事。ヨセフ、ヤコブ、兄弟達、私達も→「患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出す」5：3-4。

Ⅲ 私達が、不当な苦しみを受け、つらい時、失望しそうになる時、私達を心から愛し十字架につけられ、よみがえり、今、私達と共にいて下さる主、すべてを支配し、すべてを益（神の良い計らい、私達が救いを受け、主の姿へ成長し続ける）として下さる神を見上げたい。人の悪を良いことの計らいとされた最大の素晴らしい神の御業→それこそ、罪人である私達のための主の十字架の死による完全な救いである。次の御言葉は、イエス様の生涯にも当てはまる。「あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いこと（私達の救い）の計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした（今日まで、主の十字架の驚くべき恵みにより多くの人々が救われてきた。私達も）」：創50：20。

1. 人間がなした最大の悪→人間は、何一つ罪のない、純粋な愛を注ぎ尽くされたイエス様を十字架に着けて殺してしまった。当時のユダヤ人の指導者達は、ねたみから主を引き渡し（マタ27：18）、群衆を扇動し、罪のない主を十字架の死に追いやった。当時の人々の罪故だけでなく、私達の数えきれない罪の為に主は十字架で死なれた。

2. 人間の目には主の十字架は、「私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと」（イザヤ53：4）映った。また、主は、敵対する人々をやっつける事ができない弱く、みじめな敗北者に思われた。

3. しかし偉大な神は、偉大なご計画を持っておられた。人の悪、人の目に敗北と見える主の十字架こそ、私達人間の罪を償う完全な救いだった。心から感謝したい！「人が顔をそむけるほどさげすまれ、私達も彼を尊ばなかった。まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた」イザヤ53：3-5。祈り：父、子、聖霊なる神様。あなたは、私達が人から悪を計られても、それを良い事の為の計らいとされることを感謝します。失望せず、あなたを信頼し祈る者として下さい。裁きは神に任せ、人に復讐する者ではなく、まず自分自身の罪を悔い改める者として下さい。まず、素晴らしいあなたと自分との関係を正しいものとし深めることができますように。人の目に敗北に見えた主の十字架が、私達の為の完全な贖いである事を心から感謝します！